（参考様式）

令和３年度　生田高等学校 年間指導計画

教科・科目	数学・数学探究α	学年	3	教科書	なし
		単位数	4	副教材	数研出版「ベーシックスタイル数学演習Ⅰ・A 受験編」 数研出版「2021 数学Ⅰ・A30分プレノート」

学習目標	1・2年次に学習した数学ⅠAの復習も兼ねて問題演習を行い、より発展的な問題にも取り組むことで、数学的な見方や考え方を身につけ、知識と技能の習熟をはかり大学受験に備える。
学習方法	副教材およびその他の問題を使用し、次の3点を行う。 1. 十分な予習をし、授業中に確認テストを行い知識の定着を図る。 2. 十分な予習をし、自身で解いた問題の解法を発表することにより表現力を養う。 3. 定期的に実施する小テストや提出物等の課題にしっかり取り組む。
学習評価	

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	1・2年で学習した内容に関心を持ち、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象考察に活用しようとする。
b	数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、それぞれの分野において、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。
c	数学的な技能	それぞれの分野において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決する。
d	知識・理解	それぞれの分野における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。

学期	内容のまとまり	時数	単元（題材）	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	数学Ⅰ	48	数と式 2次関数 図形と計量 データの分析	家庭学習でCheckを課題として与え、授業では類題の問題演習・解説を行う。	○			○	a.家庭学習を行い授業に臨み、意欲的に演習に取り組んでいる。 b.問題を分析し、様々なアプローチを考え、問題を解くことができる。 c.論述の中で、簡潔な計算・数式処理方法で正確に処理ができる。 d.問題に沿った定理・公式を判断し、活用できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
				数学Ⅰの全分野について基本公式の意味や全分野の相互のつながりを確認する。		○	○	○		
				公式利用のポイントを押さえる。				○		
2学期	数学A	56	場合の数と確率 図形の性質 整数の性質	家庭学習でCheckを課題として与え、授業では類題の問題演習・解説を行う	○	○		○	a.家庭学習を行い授業に臨み、意欲的に演習に取り組んでいる。 b.問題を分析し、様々なアプローチを考え、問題を解くことができる。 c.論述の中で、簡潔な計算・数式処理方法で正確に処理ができる。 d.問題に沿った定理・公式を判断し、活用できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
				数学Aの全分野について論理的な記述力を高めるため、添削など丁寧な指導を行う。		○	○	○		
				小テスト等を組み入れ、なるべく多くの分野の問題に取り組ませる。			○	○		
3学期	総合演習	36		1年間の総まとめとして、数学ⅠAで学んだ全分野について分野横断的な問題に取り組むことで、数学的な視野を広げる。	○	○		○	a.家庭学習を行い授業に臨み、意欲的に演習に取り組んでいる。 b.問題を分析し、様々なアプローチを考え、問題を解くことができる。 c.論述の中で、簡潔な計算・数式処理方法で正確に処理ができる。 d.問題に沿った定理・公式を判断し、活用できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
				一定時間内に課題に応じた的確な記述ができるかを確認する。		○	○			
合計時数(50分授業)		140								